

ほのほのだより

～ ちゃんと読みたい昔話絵本 ～

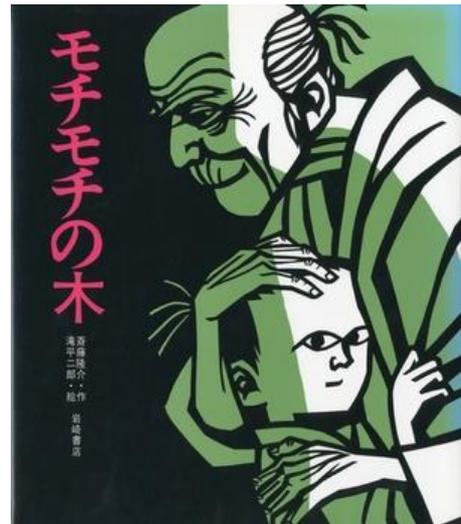
近年、私たちの暮らしがどんどん便利になりましたが、お話にでてくる昔の暮らしや主人公に子ども達は興味を示し昔話が大好きです。登場人物が辛い事を乗り越えたり、誠実な人柄や努力が報われたりする様子を見て、子ども達はお話に引き込まれていくようです。時間のある時に昔話にも触れてみるのはいかがでしょうか。

「モチモチの木」(6歳児向け)

出版社：岩崎書店

斎藤 隆介 作・滝平 二郎 絵

豆太は夜中にひとりでおしっこに行けない臆病者。豆太が夜中にトイレへ行きたくになると、豆太が「ジサマア」とどんな小さい声で呼んでも「じさま」はすぐ目をさましトイレに連れて行ってくれます。ところが、真夜中に腹痛で苦しむ「じさま」の為に臆病者の豆太は勇気を奮い立たせます！勇気と優しさが詰まった心温まるお話です。



「こぶとりじいさん」(3・4歳児向け)

出版社：永岡書店

佐々木 昇 作・やまだ 三平 絵

ある日のこと楽しそうに踊る鬼たちを陰でみてたおじいさん、思わず鬼たちの輪の中に入って一緒に踊りだしてしまいます。それを見た鬼たちは明日も必ず来るように身代りにこぶをとってしまいますが・・・

「また読んで！」と何度も繰り返し読みたくなるお話です。



「おおきなかぶ」(2・3歳児向け)

出版社：福音館書店

A・トルストイ 作・佐藤 忠良 絵
内田 莉莎子 訳

小さい子から楽しめる有名なロシア民話のお話です。「うんとこしょ どっこいしょ」と何度も繰り返される掛け声に合わせて子供たちも自然と体を動かし大きな声で掛け声を掛けてくれます。最後にかぶがぬけた時は「やった～」と大喜び！犬や猫と次々と動物たちが増え力強さやユーモアあふれる子供たちがお気に入りの一冊です。

